


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他( )		
	単元(題材)名	導入時：語彙力を高め、文法事項の整理に役立てよう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら、語彙力をつけるために反復練習を重ねる。</li> <li>・文法学習の既習事項について、アプリを使って復習し、語順等についてのイメージをつかむ。</li> </ul>		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学 部 3 年 2 人		
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<p>※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2名とも中学部の途中で転入してきた生徒である。学習空白があるが、本校での授業には前向きに取り組んでいる。</li> <li>・英語学習に関しては、中1の復習から始めおり、多少の時間は要するが定着に結びついている。</li> </ul>		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	<p>※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。</p> <p>iPad (一人1台使用)</p>		
	使用したアプリケーションの名称	<p>※使用したアプリケーション名を記入する。</p> <p>中学生の英単語 2000 (中学英語よく出る英単語勉強アプリ) 早打ち英文法</p>	<p>アプリマーク</p> 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	<p>(複数選択可能)</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニケーション支援</p> <p><input type="checkbox"/>活動支援 (<input type="checkbox"/>情報入手支援 <input type="checkbox"/>機器操作支援 <input type="checkbox"/>時間支援)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/>教科学習支援 <input type="checkbox"/>認知発達支援 <input type="checkbox"/>社会生活支援)</p>		
	ICT活用のねらい	学習意欲と定着、モチベーションの維持をねらっている。		
活用の状況と支援	<p>※ICT活用場面と行った支援について記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始め 10 分程度、導入部分で行った。生徒にとっては楽しみながら語彙力や文法の復習をすることができ、授業の流れのメリハリにもつながっている。</li> <li>・どちらのアプリも自分の学習レベルに合わせた選択ができるというメリットがある。</li> <li>・どちらのアプリを使うかは生徒自身が決め、指導者は途中、机間巡視し、説明を要する場合は各生徒の状況に合わせて行った。</li> <li>・英文法アプリは、間違っただけに説明が表示されることから、その説明を見て正誤の整理をしている様子が見られた。</li> <li>・ゲーム感覚ででき、生徒の学習に対する動機付けと興味をもった活動の継続ができることにつながっている。</li> </ul>			